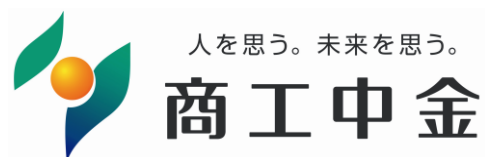


2022年3月18日
産業調査部

商工中金景況調査

2022年2月調査結果(定例分)



1. 目的・調査事項	<ul style="list-style-type: none">●目的 中小企業の、景況感をはじめとする実態のタイムリーな把握●調査事項<ul style="list-style-type: none">(1) 景況感 今月及び先行き(2) 業況判断（売上、販売価格、仕入価格、雇用状況、生産・営業用設備、資金繰り）今月及び先行き(3) トピックス（中小企業の商圈変化について<仮>） <p>※トピックス部分は別途、4月上旬公表予定</p>
2. 回答期間・調査頻度	<ul style="list-style-type: none">●回答期間 2022年2月18日～3月4日（本件が第8回調査）●調査頻度 四半期毎（当面）
3. 対象企業	商工中金の取引先中小・中堅企業
4. 企業数	有効回答数 1,948社 （アンケート依頼数 4,103社、回答率 47.5%）
5. 調査方法	インターネットによる直接回答
■ ご照会先	商工中金 産業調査部 柗木（ひいらぎ） TEL：080-7005-3531

調査回答企業の属性（業種別）

		回答企業数	構成比(%)			回答企業数	構成比(%)
製造業		879	45.1	非製造業		1,069	54.9
	食料品	96	4.9		建設業	66	3.4
	化学	64	3.3		卸売業	299	15.3
	鉄・非鉄	73	3.7		小売業	174	8.9
	印刷業	42	2.2		運輸業	297	15.2
	金属製品	148	7.6		飲食・宿泊	82	4.2
	はん用、生産用、業務用機械	119	6.1		情報通信業	36	1.8
	電気機器	64	3.3		その他非製造業	115	5.9
	輸送用機器	100	5.1				
	その他製造業	173	8.9				
全産業						1,948	100

(注)各項目の構成比の合計は、四捨五入の関係で100%とならない場合がある（以降頁同様）。

調査回答企業の属性（地域別）

地域		回答企業数	構成比(%)	地域	回答企業数	構成比(%)
	北海道	51	2.6	北陸	83	4.3
	東北	149	7.6	近畿	325	16.7
	関東	594	30.5	中国	154	7.9
	甲信越	110	5.6	四国	68	3.5
	東海	209	10.7	九州・沖縄	205	10.5
全産業					1,948	100

(注) 地域区分：東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）、関東（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、千葉、神奈川）、甲信越（山梨、長野、新潟）、東海（静岡、愛知、三重、岐阜）、北陸（富山、石川、福井）、近畿（大阪、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山）、中国（鳥取、島根、岡山、広島、山口）、四国（香川、徳島、愛媛、高知）、九州・沖縄（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

1. 景況感

～感染拡大や素原材料価格の高騰に伴い、
景況感は再び「悪化」超に

<2022年2月の景況感>

感染拡大や素原材料価格の高騰に伴い、景況感は再び「悪化」超に

今月の景況判断指数（全産業）は39.9

（前回比－10.1ポイント）

先行きの景況判断指数は47.9

（今月比＋8.0ポイント）

□ 2月・・・「好転」9.9%、「不変」60.0%
「悪化」30.1%。

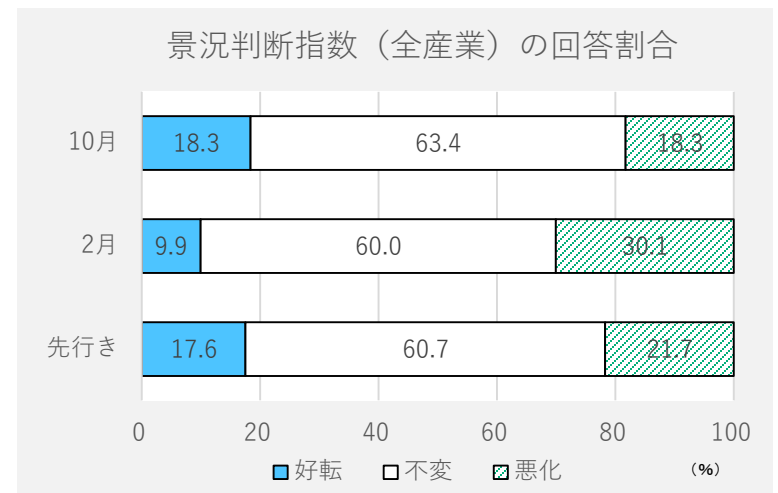
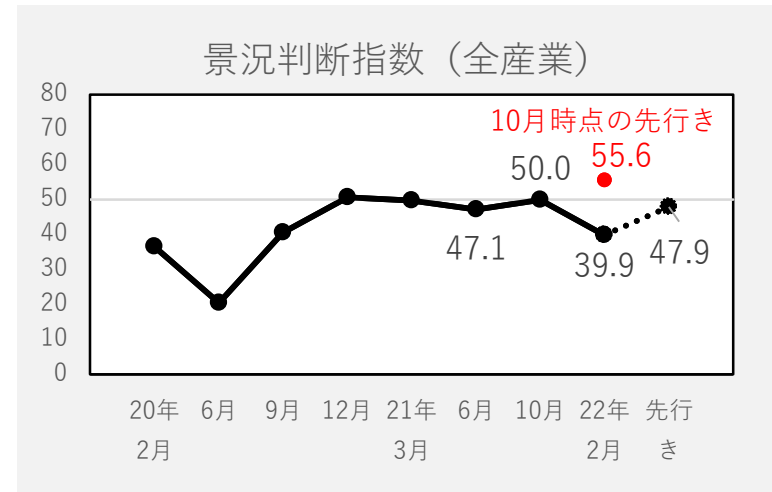
□ 先行き・・・「好転」17.6%、「不変」60.7%
「悪化」は21.7%。

注1) 景況判断指数の算出式

景況判断指数 = ((好転企業数 × 1 + 不変企業数 × 0.5 + 悪化企業数 × 0) ÷ 当該設問への回答企業数) × 100

指数が50を上回っていれば調査対象企業群の景況判断が概ね1~3か月前と比べて好転したことを表し、50を下回っていれば景況判断が概ね1~3か月前と比べて悪化したことを表す。50が中立となる。指数の範囲0.0 ≤ 景況判断指数 ≤ 100.0

注2) 景況判断は、「今月（概ね1~3か月前と比べて）」につき3つの選択肢 = 「1.好転」「2.不変」「3.悪化」から選択。「先行き（向こう3か月程度の見通し）」についても同様。



< 2022年2月の景況感 >

製造業は2020年9月以来の「悪化」超、非製造業も「悪化」超幅拡大

業種名	10月	2月 [10月時点の先行き]	(2月-10月)	先行き	回答数 (2月)
全産業	50.0	39.9 [55.6]	-10.1	47.9	(1,942)
製造業	50.6	45.3 [57.5]	-5.3	50.8	(877)
非製造業	49.6	35.4 [54.1]	-14.2	45.5	(1,065)
食料品	56.2	38.9 [65.0]	-17.3	51.6	(95)
化学	48.5	39.8 [43.4]	-8.7	44.4	(64)
鉄・非鉄	54.1	47.3 [58.1]	-6.8	55.5	(73)
印刷業	52.4	45.2 [64.3]	-7.2	50.0	(42)
金属製品	51.0	50.7 [56.9]	-0.3	52.4	(147)
はん用、生産用、業務用機械	54.3	58.0 [57.3]	+3.7	55.0	(119)
電気機器	61.5	43.8 [54.8]	-17.7	45.2	(64)
輸送用機器	29.1	39.5 [57.1]	+10.4	56.5	(100)
その他製造業	51.1	40.8 [57.9]	-10.3	45.3	(173)
建設業	49.3	42.3 [46.3]	-7.0	47.0	(65)
卸売業	51.7	39.4 [52.4]	-12.3	45.3	(298)
小売業	45.1	35.3 [48.4]	-9.8	44.2	(174)
運輸業	46.6	34.7 [52.2]	-11.9	44.1	(295)
飲食・宿泊	60.2	12.8 [81.7]	-47.4	50.0	(82)
情報通信業	52.6	45.8 [59.2]	-6.8	54.3	(36)
その他非製造業	51.3	36.1 [56.8]	-15.2	45.2	(115)

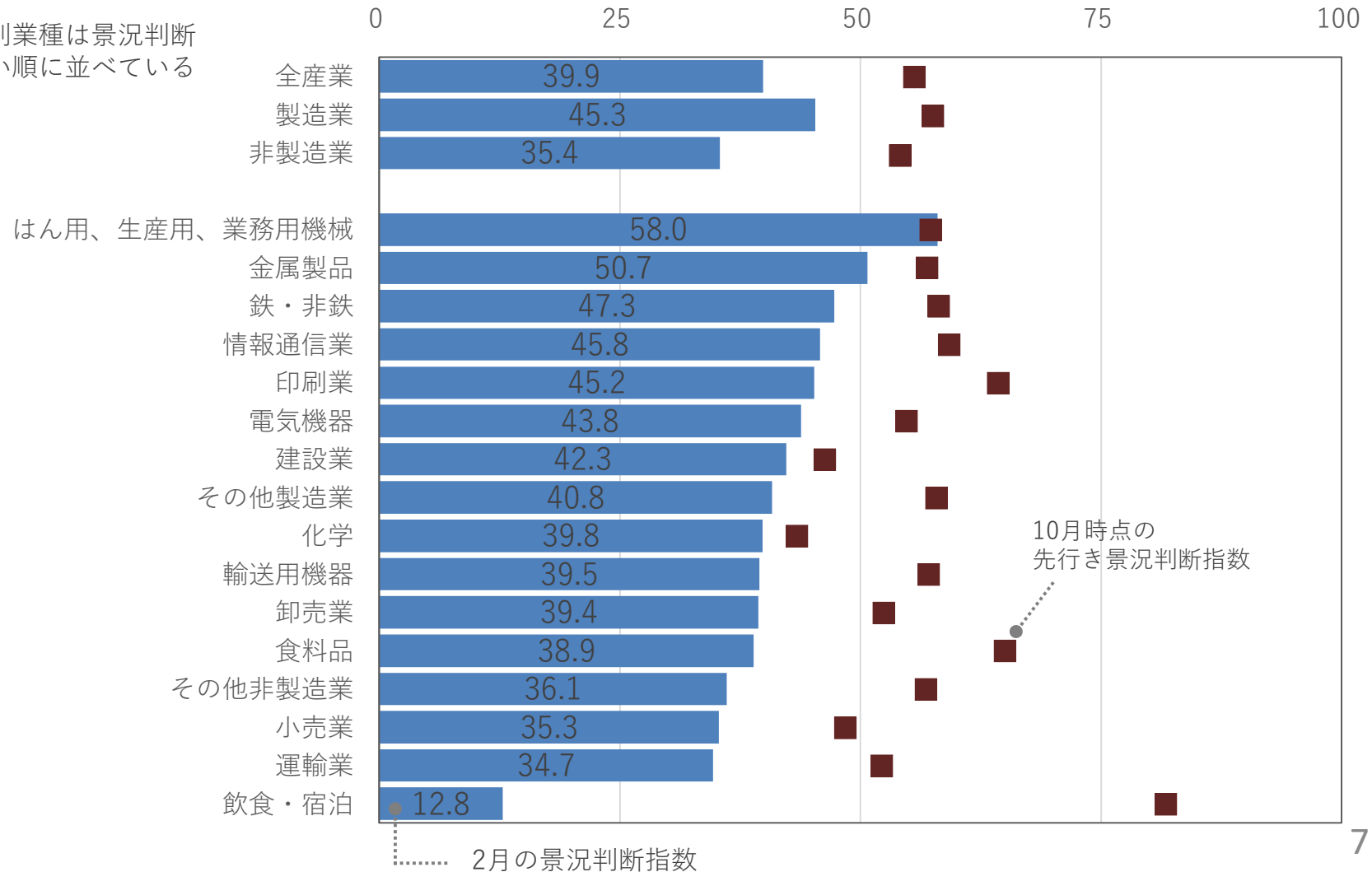
(注) その他製造業は紙・パルプ、繊維、窯業・土石、木材・木製品を含む。その他非製造業は不動産・物品賃貸業、サービス業を含む。

<2022年2月の景況感（10月時点の先行きとの比較）>

ほぼすべての業種で、10月時点の先行きから下方修正

■10月時点の先行き景況判断指数との比較

（注）個別業種は景況判断指数が高い順に並べている

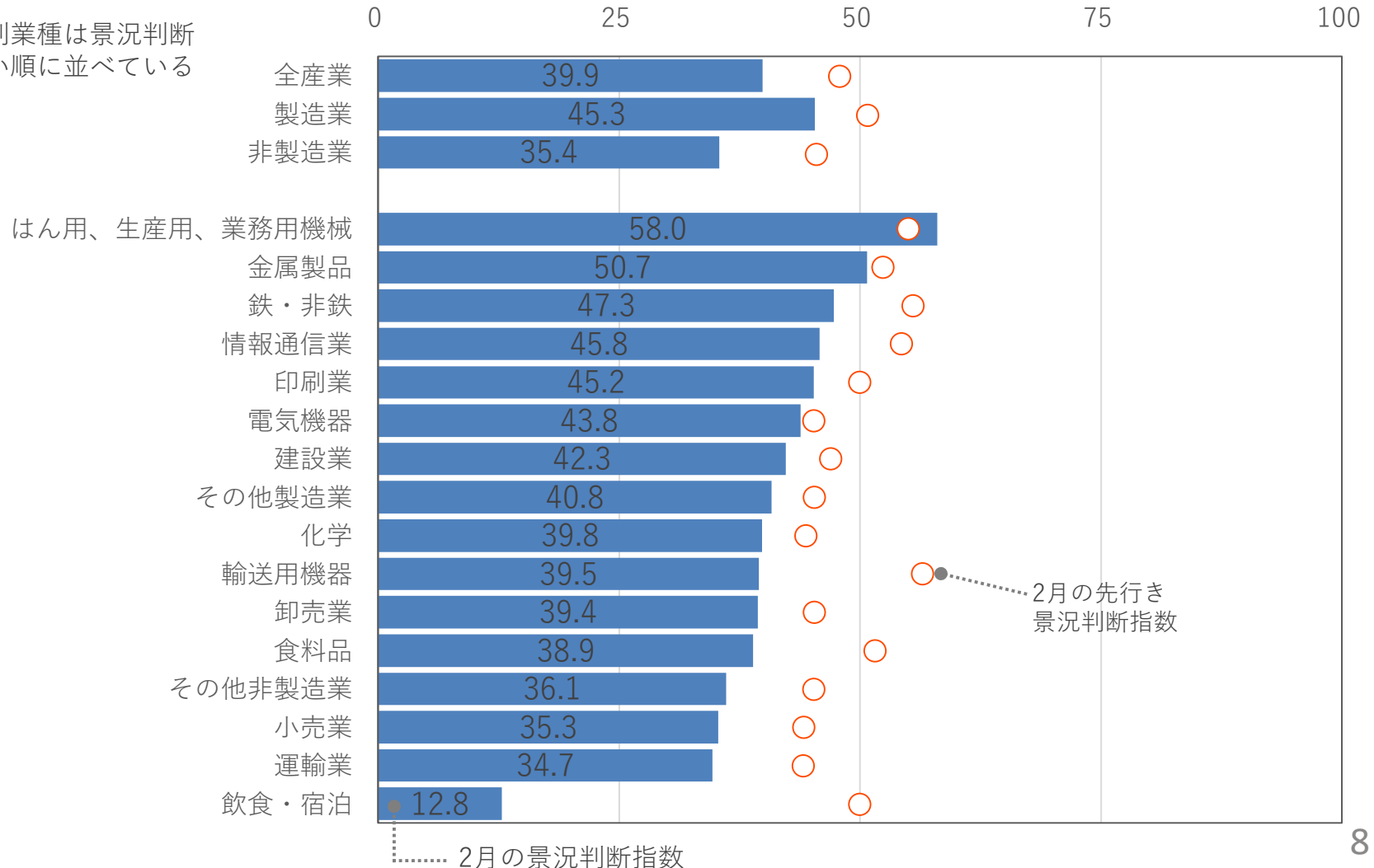


<2022年2月の景況感（2月の先行きとの比較）>

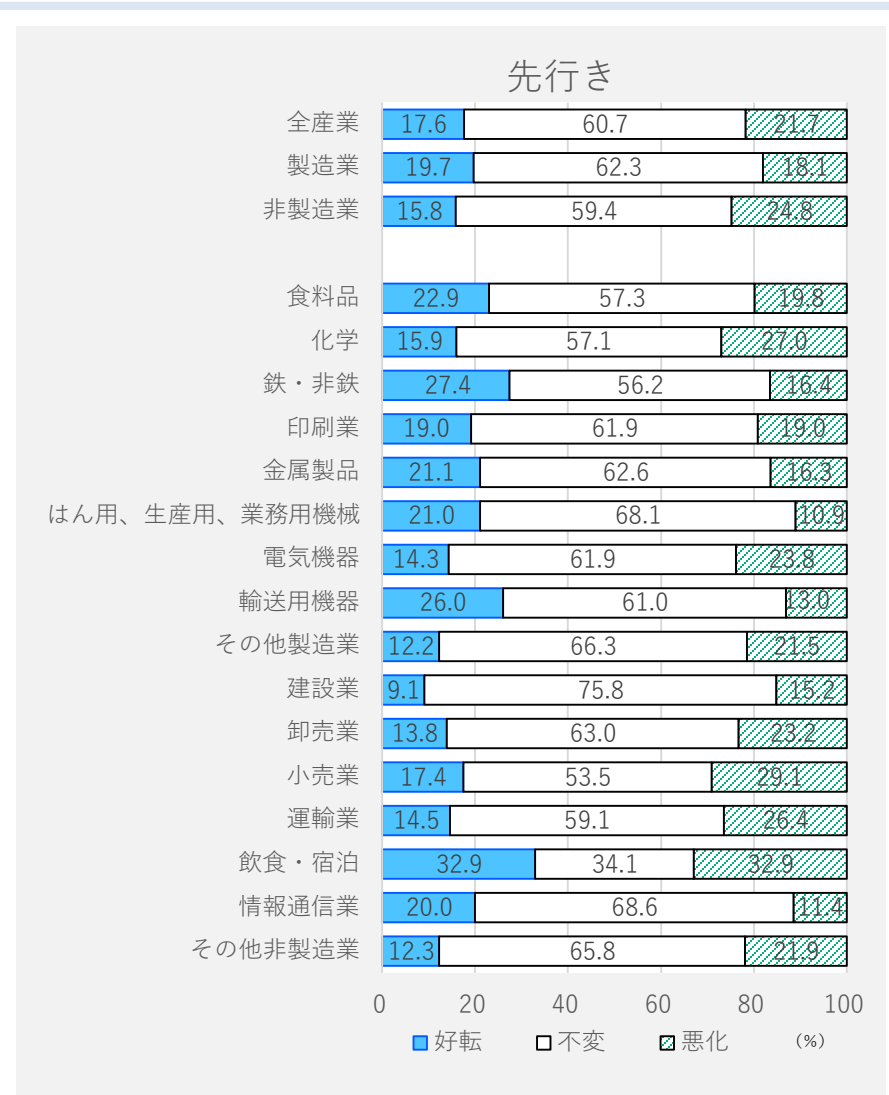
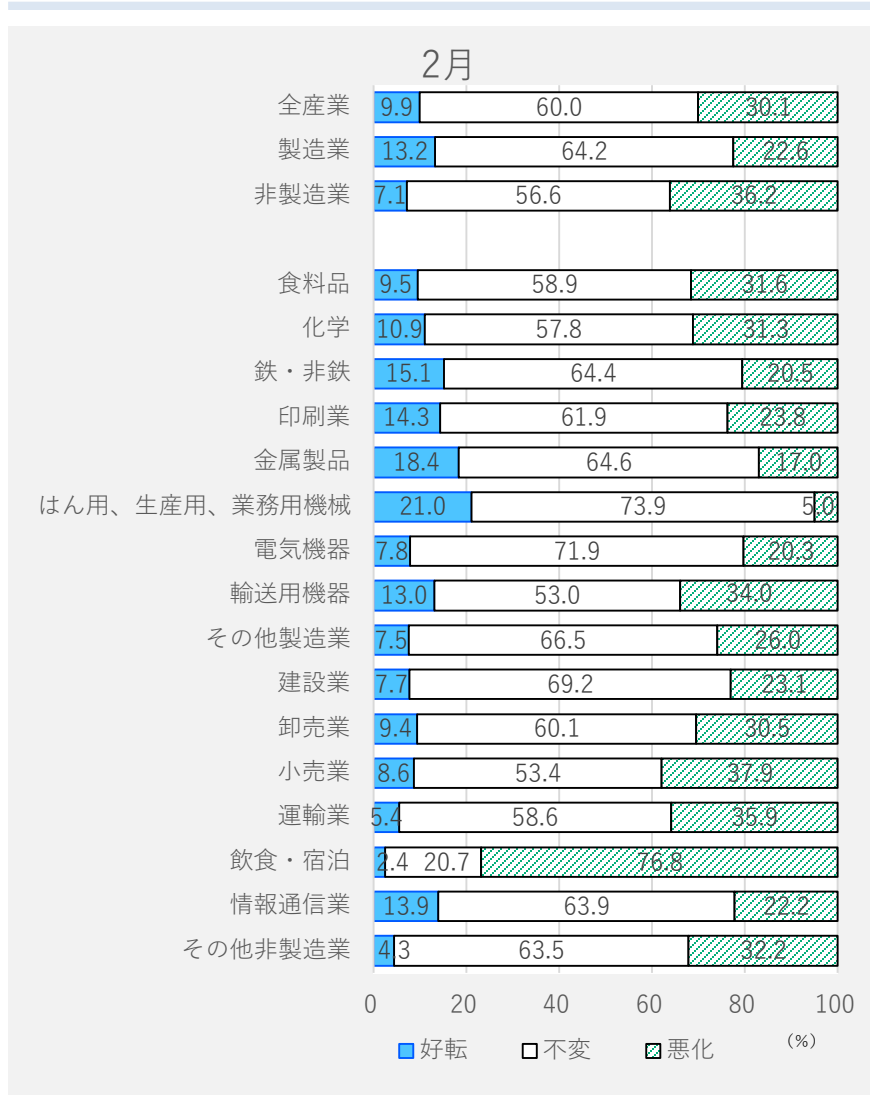
非製造業中心に多くの業種で、先行きも「悪化」超に留まる見通し

■2月の先行き景況判断指数との比較

（注）個別業種は景況判断指数が高い順に並べている



<2022年2月の景況感（業種別の回答構成比）> **飲食・宿泊では7割超の企業が「悪化」と回答**



<2022年2月の景況感> 地域別の景況感

地域名	10月	2月 [10月時点の先行き]	(2月-10月)	先行き	回答数 (2月)	製造業 (%)	非製造業 (%)
全国	50.0	39.9 [55.6]	-10.1	47.9	(1,942)	45.1	54.9
北海道	48.3	34.3 [53.4]	-14.0	42.0	(51)	29.4	70.6
東北	49.2	35.5 [51.1]	-13.7	40.8	(148)	28.2	71.8
関東	51.0	41.5 [57.5]	-9.5	49.6	(593)	44.6	55.4
甲信越	56.5	38.5 [57.9]	-18.0	48.6	(109)	59.1	40.9
東海	41.3	39.7 [57.0]	-1.6	51.7	(208)	56.9	43.1
北陸	56.5	39.8 [56.0]	-16.7	50.6	(83)	49.4	50.6
近畿	51.5	42.7 [54.4]	-8.8	47.2	(323)	47.7	52.3
中国	48.0	39.3 [49.7]	-8.7	48.4	(154)	48.7	51.3
四国	54.7	36.0 [51.3]	-18.7	38.2	(68)	47.1	52.9
九州・沖縄	48.7	38.3 [59.1]	-10.4	48.3	(205)	34.1	65.9

(注) 全国ベースで調査対象企業の抽出を行っているため、地域ごとの業種構成は考慮していない。
そのため、各地域間の比較や、全国と各地域を比較する際は注意を要する。

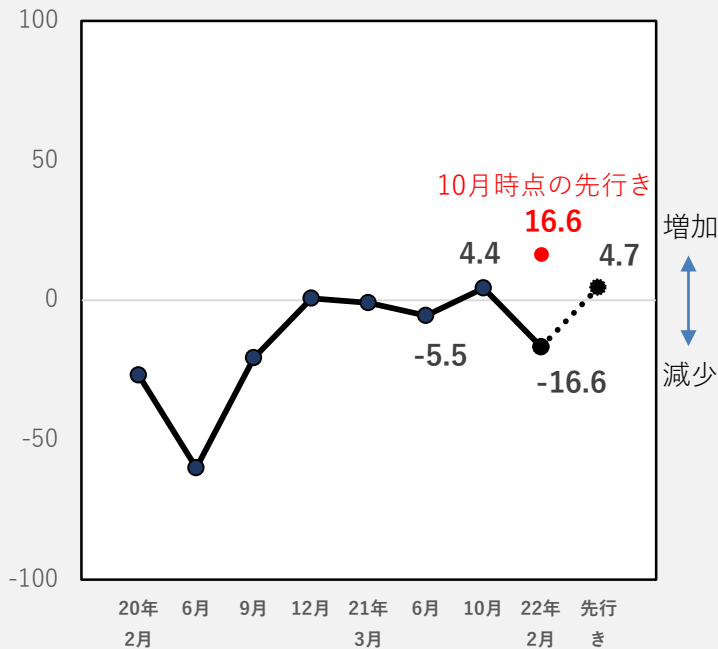
2. 業況判断

～販売価格の「上昇」超幅の拡大を上回るペースで
仕入価格の「上昇」超幅が拡大

<2022年2月の業況判断>

【売上】非製造業では、飲食・宿泊をはじめすべての業種で「減少」超

売上DI（全産業）



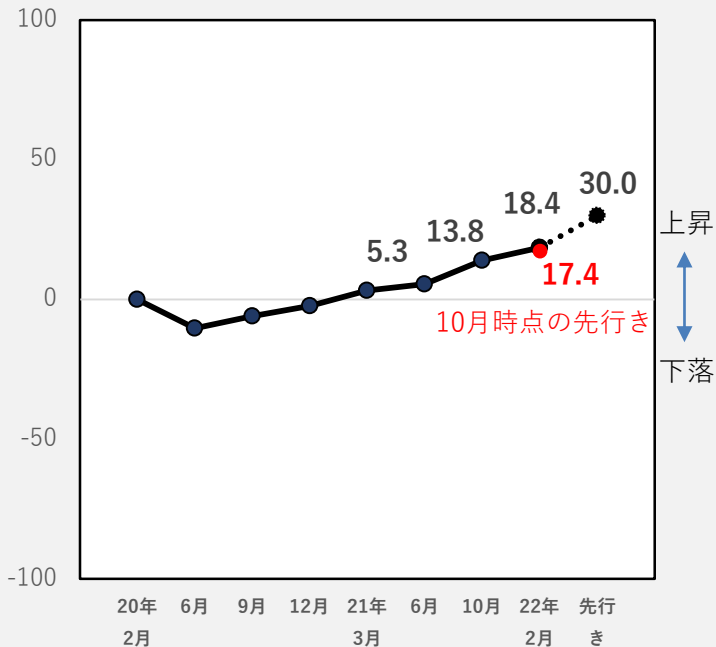
	21年10月	22年2月 [10月時点の先行き]	先行き
全産業	4.4	▲ 16.6 [16.6]	4.7
製造業	5.0	▲ 8.7 [19.7]	9.7
非製造業	4.0	▲ 23.2 [14.1]	0.7
食料品	21.2	▲ 12.5 [36.6]	16.7
化学	5.9	▲ 20.6 [▲11.8]	4.8
鉄・非鉄	20.3	▲ 1.4 [28.4]	26.0
印刷業	11.9	7.1 [36.6]	0.0
金属製品	5.3	4.1 [23.0]	5.4
はん用、生産用、業務用機械	7.7	8.4 [23.9]	13.4
電気機器	19.4	▲ 1.6 [16.1]	0.0
輸送用機器	▲ 39.0	▲ 23.2 [9.0]	21.0
その他製造業	3.9	▲ 26.0 [15.2]	1.2
建設業	▲ 1.5	▲ 12.1 [▲1.5]	▲ 4.5
卸売業	9.8	▲ 11.4 [10.4]	3.0
小売業	▲ 1.6	▲ 24.7 [6.0]	0.0
運輸業	0.0	▲ 20.7 [14.2]	0.7
飲食・宿泊	16.9	▲ 74.4 [65.1]	0.0
情報通信業	18.4	▲ 8.6 [18.4]	17.1
その他非製造業	▲ 2.6	▲ 32.2 [8.5]	▲ 6.1

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2022年2月の業況判断>

【販売価格】 製造業中心に「上昇」超幅が一段と拡大

販売価格DI（全産業）



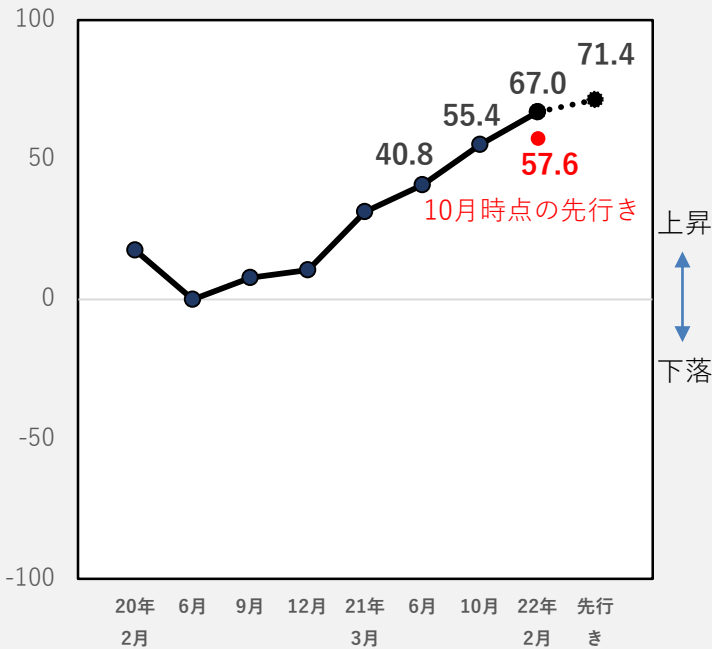
	21年10月	22年2月 [10月時点の先行き]	先行き
全産業	13.8	18.4 [17.4]	30.0
製造業	13.2	21.1 [18.7]	36.9
非製造業	14.3	16.1 [16.3]	24.2
食料品	8.9	31.6 [18.8]	46.8
化学	17.6	20.6 [19.1]	30.6
鉄・非鉄	45.9	43.1 [45.8]	56.9
印刷業	▲ 2.4	0.0 [0.0]	19.0
金属製品	15.3	25.9 [29.8]	40.4
はん用、生産用、業務用機械	6.8	20.2 [9.4]	27.7
電気機器	8.1	14.1 [8.1]	29.7
輸送用機器	10.0	7.0 [14.0]	18.0
その他製造業	10.1	19.1 [15.2]	46.8
建設業	▲ 2.9	9.1 [1.5]	7.6
卸売業	30.9	32.3 [31.1]	45.3
小売業	21.7	34.5 [21.1]	36.4
運輸業	1.2	0.7 [5.1]	6.6
飲食・宿泊	14.5	▲ 1.2 [28.9]	18.5
情報通信業	2.6	2.9 [2.6]	11.4
その他非製造業	6.9	5.3 [3.4]	13.3

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2022年2月の業況判断>

【仕入価格】 前回の先行き見通しを大きく上回るペースで「上昇」超幅が拡大

仕入価格DI（全産業）



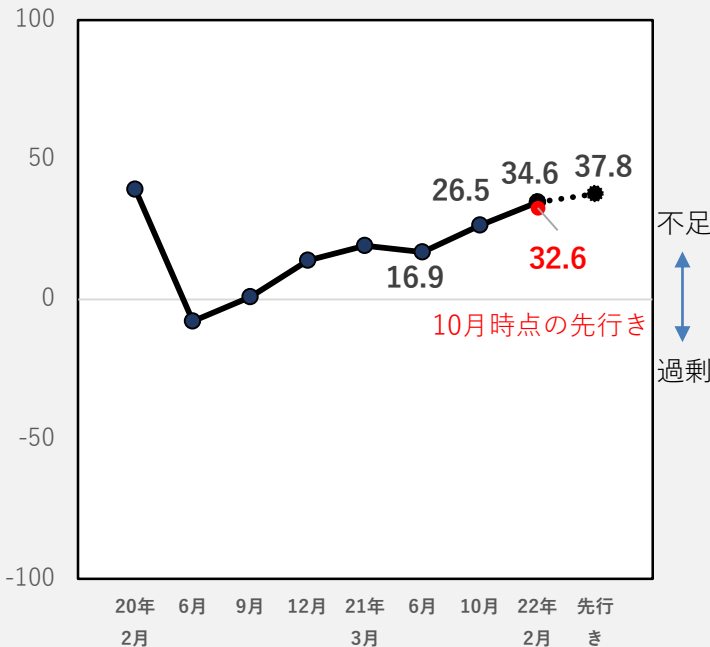
	21年10月	22年2月 [10月時点の先行き]	先行き
全産業	55.4	67.0 [57.6]	71.4
製造業	62.6	74.0 [65.3]	77.8
非製造業	49.6	61.2 [51.4]	66.1
食料品	56.6	69.8 [60.2]	80.2
化学	63.2	82.3 [67.6]	85.5
鉄・非鉄	89.2	80.8 [78.4]	79.5
印刷業	23.8	71.4 [64.3]	90.5
金属製品	77.2	79.5 [75.3]	77.2
はん用、生産用、業務用機械	69.2	86.4 [68.4]	81.5
電気機器	59.7	79.7 [67.7]	79.7
輸送用機器	58.0	65.0 [55.0]	72.0
その他製造業	51.4	61.3 [56.8]	70.5
建設業	61.8	63.6 [60.3]	71.2
卸売業	55.0	66.8 [56.1]	69.8
小売業	36.8	48.3 [32.6]	56.1
運輸業	57.3	71.5 [61.8]	74.0
飲食・宿泊	54.2	76.8 [63.4]	81.7
情報通信業	15.8	25.7 [18.4]	31.4
その他非製造業	33.0	38.6 [35.7]	48.2

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2022年2月の業況判断>

【雇用状況】景況感の悪化にもかかわらず、大半の業種で「不足」超が拡大

雇用状況DI（全産業）

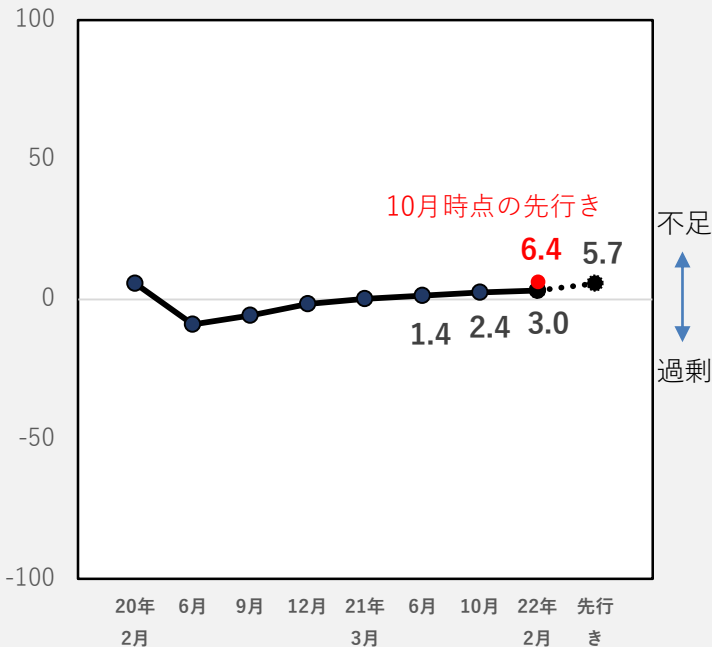


	21年10月	22年2月 [10月時点の先行き]	先行き
全産業	26.5	34.6 [32.6]	37.8
製造業	22.9	33.3 [29.6]	34.7
非製造業	29.3	35.7 [34.9]	40.3
食料品	27.4	32.3 [30.1]	36.8
化学	37.3	34.9 [38.8]	40.3
鉄・非鉄	44.6	43.8 [43.2]	49.3
印刷業	▲ 11.9	11.9 [▲4.8]	21.4
金属製品	31.3	35.4 [29.8]	34.0
はん用、生産用、業務用機械	19.7	36.1 [28.2]	33.6
電気機器	21.0	34.4 [32.8]	32.8
輸送用機器	2.0	23.0 [31.0]	28.0
その他製造業	21.3	35.8 [27.1]	34.7
建設業	33.8	36.4 [42.6]	40.9
卸売業	21.7	24.8 [24.5]	27.5
小売業	35.0	38.2 [38.5]	41.3
運輸業	41.7	48.3 [45.0]	50.2
飲食・宿泊	▲ 2.5	20.7 [29.3]	42.7
情報通信業	15.8	25.7 [13.2]	40.0
その他非製造業	29.9	41.6 [35.9]	44.6

<2022年2月の業況判断>

【生産・営業用設備】製造業、非製造業ともに、引き続き小幅の「不足」超

生産・営業用設備DI
(全産業)



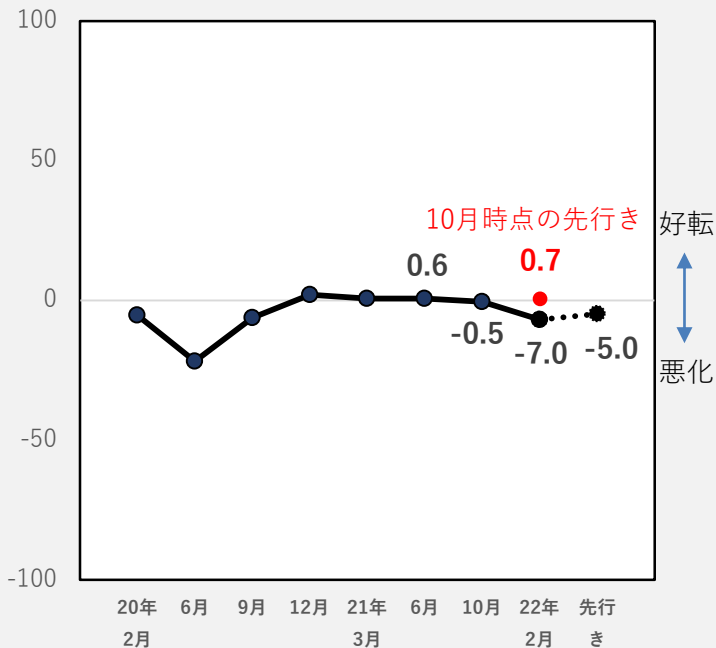
	21年10月	22年2月 [10月時点の先行き]	先行き
全産業	2.4	3.0 [6.4]	5.7
製造業	2.2	4.2 [7.9]	8.4
非製造業	2.6	2.0 [5.3]	3.4
食料品	11.5	6.3 [13.3]	8.3
化学	5.9	7.9 [11.8]	6.5
鉄・非鉄	1.4	9.7 [6.8]	12.5
印刷業	▲ 4.8	▲ 2.4 [9.8]	▲ 7.1
金属製品	7.3	2.0 [12.0]	5.4
はん用、生産用、業務用機械	6.8	10.9 [10.3]	13.4
電気機器	8.1	10.9 [11.3]	20.3
輸送用機器	▲ 17.0	▲ 6.0 [0.0]	8.0
その他製造業	▲ 1.7	1.7 [1.1]	5.8
建設業	2.9	1.5 [7.4]	3.0
卸売業	4.0	3.1 [5.0]	4.1
小売業	1.7	2.3 [2.3]	2.3
運輸業	4.8	7.5 [9.0]	7.2
飲食・宿泊	▲ 9.8	▲ 17.1 [▲1.2]	▲ 3.7
情報通信業	2.7	6.1 [5.4]	6.1
その他非製造業	2.6	▲ 2.6 [3.4]	▲ 1.8

(DIの定義は資料末尾に記載)

<2022年2月の業況判断>

【資金繰り】製造業・非製造業ともに「悪化」超幅が拡大

資金繰りDI（全産業）



	21年10月	22年2月 [10月時点の先行き]	先行き
全産業	▲ 0.5	▲ 7.0 [0.7]	▲ 5.0
製造業	▲ 0.4	▲ 4.8 [▲0.4]	▲ 3.8
非製造業	▲ 0.5	▲ 8.8 [1.7]	▲ 6.0
食料品	▲ 1.8	▲ 5.2 [0.0]	▲ 3.1
化学	7.4	▲ 12.7 [1.5]	▲ 9.7
鉄・非鉄	2.7	▲ 4.1 [▲10.8]	▲ 5.5
印刷業	▲ 2.4	0.0 [0.0]	▲ 9.5
金属製品	0.0	▲ 6.8 [0.7]	▲ 0.7
はん用、生産用、業務用機械	4.3	▲ 2.5 [4.3]	▲ 2.5
電気機器	6.5	▲ 12.5 [1.6]	▲ 6.3
輸送用機器	▲ 13.0	▲ 4.0 [▲3.0]	0.0
その他製造業	▲ 2.2	▲ 0.6 [▲0.6]	▲ 4.7
建設業	0.0	0.0 [1.5]	0.0
卸売業	▲ 1.5	▲ 4.4 [▲1.8]	▲ 3.0
小売業	▲ 1.1	▲ 6.9 [0.6]	▲ 5.8
運輸業	▲ 0.6	▲ 10.5 [1.5]	▲ 10.8
飲食・宿泊	▲ 2.4	▲ 39.0 [13.6]	▲ 15.9
情報通信業	5.3	8.8 [7.9]	5.7
その他非製造業	2.6	▲ 7.9 [3.4]	▲ 1.8

(DIの定義は資料末尾に記載)

(参考) 業況判断DIの定義

業況判断	<p>各項目の「今月」および「先行き」について、下記3つの選択肢（1.~3.）の中から、調査対象企業自身の業況についての判断（業況感）に該当するものを選択する</p>
DIの算出方法 (Diffusion Index の略)	<p>①売上…「1.増加」「2.不変」「3.減少」 ②販売価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ③仕入価格…「1.上昇」「2.不変」「3.下落」 ④雇用状況…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑤生産・営業用設備…「1.不足」「2.適正」「3.過剰」 ⑥資金繰り…「1.好転」「2.不変」「3.悪化」</p> <p>業況判断DI = 「1.」 - 「3.」の企業割合 (%) DIの範囲▲100.0 ≦ 業況判断DI ≦ 100.0</p> <p>②販売価格、③仕入価格、⑥資金繰りは「今月」はおおむね1~3か月前と比べて、「先行き」は今月と比べた向こう3か月程度の見通しについて、それぞれ選択肢から選んで回答。</p> <p>④雇用状況、⑤生産・営業用設備は、調査対象企業が「適正」と考えている水準を基準として、「今月」と「先行き」の状況を、それぞれ選択肢から選んで回答。</p>

本資料は情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資判断の決定につきましては、お客様ご自身の判断でなされますようお願い致します。



人を思う。未来を思う。

商工中金